

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年10月8日
【四半期会計期間】	第29期第2四半期（自平成22年6月1日至平成22年8月31日）
【会社名】	株式会社ニューテック
【英訳名】	Newtech Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 笠原 康人
【本店の所在の場所】	東京都港区浜松町二丁目7番19号 KDX浜松町ビル
【電話番号】	03-5777-0888（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 宮崎 有美子
【最寄りの連絡場所】	東京都港区浜松町二丁目7番19号 KDX浜松町ビル
【電話番号】	03-5777-0888（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員管理本部長 宮崎 有美子
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第2四半期 累計期間	第29期 第2四半期 累計期間	第28期 第2四半期 会計期間	第29期 第2四半期 会計期間	第28期
会計期間	自平成21年 3月1日 至平成21年 8月31日	自平成22年 3月1日 至平成22年 8月31日	自平成21年 6月1日 至平成21年 8月31日	自平成22年 6月1日 至平成22年 8月31日	自平成21年 3月1日 至平成22年 2月28日
売上高(千円)	1,328,431	1,125,035	788,683	728,795	2,561,600
経常利益又は経常損失( ) (千円)	24,339	31,861	56,255	40,752	3,409
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失( ) (千円)	14,274	18,193	62,054	47,066	22,263
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-	-	-
資本金(千円)	-	-	496,310	496,310	496,310
発行済株式総数(千株)	-	-	2,081	2,081	2,081
純資産額(千円)	-	-	1,152,427	1,170,089	1,187,186
総資産額(千円)	-	-	2,801,007	2,563,124	2,698,168
1株当たり純資産額(円)	-	-	601.17	610.38	619.30
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額( ) (円)	7.23	9.49	32.18	24.55	11.44
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
1株当たり配当額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	41.1	45.7	44.0
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	73,308	70,783	-	-	261,241
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	19,438	14,298	-	-	18,751
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	93,245	147,743	-	-	402,195
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	1,462,503	1,146,852	1,379,676
従業員数(人)	-	-	69	68	69

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 持分法を適用した場合の投資利益については、四半期財務諸表等規則第12条の規定により、関連会社の損益等に重要性が乏しいため記載を省略しております。

4. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期会計期間において、当社の事業の内容について、重要な変更はありません。

## 3【関係会社の状況】

当第2四半期会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4【従業員の状況】

提出会社の状況

平成22年8月31日現在

従業員数(人)	68(7)
---------	-------

(注) 従業員数は、就業人員であり、臨時雇用者数は、当第2四半期会計期間の平均人員を( )外数で記載しております。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当社の生産実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	前年同四半期比(%)
ストレージ本体(千円)	509,244	134.5
周辺機器(千円)	15,996	14.4
合計(千円)	525,240	107.3

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 商品仕入実績

当社の商品仕入実績は、次のとおりであります。

品目	当第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	前年同四半期比(%)
商品(千円)	102,450	115.8

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 受注実績

当社は見込生産を行っているため、該当事項はありません。

#### (4) 販売実績

当社の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	前年同四半期比(%)
製品		
ストレージ本体(千円)	498,119	108.3
周辺機器(千円)	17,471	14.9
小計(千円)	515,590	89.4
商品(千円)	132,049	101.7
サービス(千円)	81,156	99.2
合計(千円)	728,795	92.4

- (注) 1. 前第2四半期会計期間及び当第2四半期会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第2四半期会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)		当第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
株式会社日立情報制御ソリューションズ	193,637	24.6	124,033	17.0

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2【事業等のリスク】

当第2四半期会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

## 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 業績の状況

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、第1四半期会計期間において、やや回復の兆しが見えてきたものの、その後の更なる円高進行に加え、不安定な政治情勢や雇用の悪化による消費の低迷が続く、政府の経済対策も経済を活性化するには至らぬまま、不況感が支配的でありました。

こうした状況の中、国内IT関連投資に関しては、一般的に投資金額の減少が続いております。また、絞り込まれたIT関連投資案件の実施に際しても、ユーザーの選別投資の強化及びコスト抑制圧力は以前に増して強くなるなど、回復の兆しが見られた設備投資需要は相変わらず抑制が続いており、ストレージ業界を取り巻く環境はますます厳しさを増しております。

このような環境の下、当社では、引続きOEM及び標準採用製品の事業拡大に注力するとともに、主力製品の機能強化したSupremacyの販売強化、ストレージ製品の高付加価値化に寄与するソリューション販売（サーバ、ストレージ及びソフトウェアを組み合わせて、システムとして納入する販売形態）の販売強化、及びサポート・サービスの充実に継続して取り組んでまいりました。また、OEM向けの新規事業として小型ストレージサーバの開発にも継続して取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期会計期間の売上高は728百万円（前年同期比 7.6%）となりました。製品売上に関しては、大口案件の納入やOEM向けの製品（ミラー製品や小型ストレージサーバ）及び標準採用製品の出荷は堅調に推移したものの、主に設備投資抑制の影響を受けやすいメーカー直系の案件が不振でありました。このため、ストレージ本体の売上高は498百万円と良好でありましたが、周辺機器を含む製品売上は515百万円（前年同期比 10.6%）と伸び悩みました。

一方、損益面につきましては、売上高が前年同期より減少したため、製造コストの削減、販売管理費等の削減効果があったものの、前年同期をやや下回る営業利益45百万円（前年同期比 20.6%）、経常利益40百万円（前年同期比 27.6%）、四半期純利益47百万円（前年同期比 24.2%）となりました。

品目別の販売実績は、次のとおりであります。

品目別	期別		前第2四半期会計期間		当第2四半期会計期間		前事業年度	
			自平成21年6月1日 至平成21年8月31日		自平成22年6月1日 至平成22年8月31日		自平成21年3月1日 至平成22年2月28日	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前期比		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
ストレージ本体	459	0.5	498	8.3	1,525	1.5		
周辺機器	117	6.8	17	85.1	253	13.7		
製品小計	577	1.8	515	10.6	1,778	3.4		
商品	129	37.2	132	1.7	452	0.2		
サービス	81	22.3	81	0.8	330	15.5		
合計	788	2.8	728	7.6	2,561	4.6		

### (2) 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して135百万円減少し2,563百万円となりました。変動の主なものは、現金及び預金の232百万円の減少、売上債権等の23百万円の増加、たな卸資産の37百万円の増加、繰延税金資産の37百万円の増加であります。

負債は、前事業年度末と比較して117百万円減少し1,393百万円となりました。変動の主なものは、買掛金の36百万円の減少、借入金（1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の合計）の147百万円の減少、前受収益の43百万円の増加であります。

純資産は、前事業年度末と比較して17百万円減少し1,170百万円となりました。変動の主なものは、利益剰余金の18百万円の減少であります。1株当たりの純資産は、前事業年度末と比較して8円92銭減少し610円38銭となり、自己資本比率は45.7%となりました。

### (3) キャッシュフローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第1四半期会計期間末に比べ123百万円減少の1,146百万円となりました。

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は65百万円(前年同期は70百万円の収入)となりました。主な資金増加要因は、税引前四半期純利益40百万円、たな卸資産の減少32百万円、仕入債務の増加124百万円等であり、主な資金減少要因は、売上債権の増加316百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は11百万円(前年同期は91百万円の収入)となりました。これは主に、検査用測定器等の有形固定資産の取得4百万円、生産用ソフトウェアの取得7百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は45百万円(前年同期は210百万円の支出)となりました。主な資金減少要因は、長期借入金の返済による純支出額45百万円によるものであります。

(4) 対処すべき課題

当第2四半期会計期間において、対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期会計期間の研究開発費の総額は52百万円であります。

なお、当第2四半期会計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期会計期間において、前四半期会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	6,000,000
計	6,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成22年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成22年10月8日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,081,000	2,081,000	大阪証券取引所 (JASDAQ市場)	単元株式数100株
計	2,081,000	2,081,000	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成22年6月1日 ~平成22年8月31日	-	2,081,000	-	496,310	-	608,360



(6) 【大株主の状況】

平成22年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
笠原 康人	東京都大田区	940,200	45.18
(株)カナモト	北海道札幌市中央区大通東3-1-19	165,000	7.92
笠原 啓子	東京都大田区	55,000	2.64
金本 太中	東京都渋谷区	50,000	2.40
金本 寛中	北海道札幌市東区	50,000	2.40
カナモトキャピタル(株)	北海道札幌市中央区大通東3-1-19	50,000	2.40
大森 みどり	神奈川県横須賀市	42,000	2.01
ティーツー・キャピタル(株)	東京都千代田区二番町9-10 タワー麹町ビル2階	36,800	1.76
石井 泰和	神奈川県川崎市多摩区	33,800	1.62
小林 吉宗	神奈川県横浜市都筑区	27,600	1.32
計	-	1,450,400	69.69

(注) 上記のほか、自己株式が164,020株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成22年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 164,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,916,800	19,168	-
単元未満株式	普通株式 200	-	-
発行済株式総数	2,081,000	-	-
総株主の議決権	-	19,168	-

【自己株式等】

平成22年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ニューテック	東京都港区浜松町 二丁目7番19号	164,000	-	164,000	7.9
計	-	164,000	-	164,000	7.9

## 2【株価の推移】

### 【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年3月	4月	5月	6月	7月	8月
最高(円)	345	359	360	346	300	300
最低(円)	309	306	305	281	282	270

(注) 最高・最低株価は、平成22年4月1日より大阪証券取引所JASDAQ市場におけるものであり、それ以前はジャスダック証券取引所におけるものであります。

## 3【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動はありません。

## 第5【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号、以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期会計期間（平成21年6月1日から平成21年8月31日まで）及び前第2四半期累計期間（平成21年3月1日から平成21年8月31日まで）は、改正前の四半期財務諸表等規則に基づき、当第2四半期会計期間（平成22年6月1日から平成22年8月31日まで）及び当第2四半期累計期間（平成22年3月1日から平成22年8月31日まで）は、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期会計期間（平成21年6月1日から平成21年8月31日まで）及び前第2四半期累計期間（平成21年3月1日から平成21年8月31日まで）に係る四半期財務諸表についてはあずさ監査法人による四半期レビューを受け、また、当第2四半期会計期間（平成22年6月1日から平成22年8月31日まで）及び当第2四半期累計期間（平成22年3月1日から平成22年8月31日まで）に係る四半期財務諸表については有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、あずさ監査法人は、監査法人の種類の変更により、平成22年7月1日をもって有限責任 あずさ監査法人となっております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,146,852	1,379,676
受取手形及び売掛金	652,487	628,691
有価証券	100,525	-
商品及び製品	67,344	40,496
仕掛品	52,240	49,864
原材料	199,552	190,842
繰延税金資産	87,924	50,153
その他	42,372	43,294
貸倒引当金	141	141
流動資産合計	2,349,157	2,382,878
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	21,253	23,354
工具、器具及び備品(純額)	30,406	33,396
有形固定資産合計	51,660	56,750
無形固定資産		
その他	28,360	24,605
無形固定資産合計	28,360	24,605
投資その他の資産		
投資有価証券	69,700	168,375
差入保証金	55,270	55,270
その他	8,975	10,287
投資その他の資産合計	133,946	233,933
固定資産合計	213,967	315,289
資産合計	2,563,124	2,698,168
負債の部		
流動負債		
買掛金	217,289	253,331
1年内返済予定の長期借入金	514,542	540,674
未払金	85,105	60,524
未払法人税等	27,508	5,584
製品保証引当金	23,964	23,337
前受収益	171,161	127,219
その他	10,712	36,064
流動負債合計	1,050,284	1,046,735
固定負債		
長期借入金	342,751	464,247
固定負債合計	342,751	464,247
負債合計	1,393,035	1,510,982

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	496,310	496,310
資本剰余金	608,360	608,360
利益剰余金	148,879	167,073
自己株式	78,213	78,213
株主資本合計	1,175,336	1,193,529
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,246	6,343
評価・換算差額等合計	5,246	6,343
純資産合計	1,170,089	1,187,186
負債純資産合計	2,563,124	2,698,168

( 2 ) 【四半期損益計算書】  
【第 2 四半期累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成21年 3 月 1 日 至 平成21年 8 月31日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成22年 3 月 1 日 至 平成22年 8 月31日)
売上高	1,328,431	1,125,035
売上原価	933,409	770,464
売上総利益	395,021	354,571
販売費及び一般管理費	413,720	378,380
営業損失 ( )	18,698	23,808
営業外収益		
受取利息	697	1,227
受取配当金	500	500
為替差益	1,087	505
協賛金収入	1,537	-
還付消費税等	3,009	-
その他	1,011	590
営業外収益合計	7,842	2,824
営業外費用		
支払利息	11,258	7,300
過年度消費税等調整額	-	2,548
その他	2,224	1,027
営業外費用合計	13,482	10,877
経常損失 ( )	24,339	31,861
税引前四半期純損失 ( )	24,339	31,861
法人税、住民税及び事業税	1,620	14,328
法人税等還付税額	1,283	-
過年度法人税等	-	9,408
法人税等調整額	10,401	37,404
法人税等合計	10,064	13,668
四半期純損失 ( )	14,274	18,193

## 【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	788,683	728,795
売上原価	549,216	504,770
売上総利益	239,466	224,025
販売費及び一般管理費	182,581	178,846
営業利益	56,885	45,179
営業外収益		
受取利息	697	740
受取配当金	500	500
為替差益	705	613
協賛金収入	576	-
還付消費税等	3,009	-
その他	866	340
営業外収益合計	6,354	2,193
営業外費用		
支払利息	5,278	3,565
過年度消費税等調整額	-	2,548
その他	1,704	506
営業外費用合計	6,983	6,619
経常利益	56,255	40,752
税引前四半期純利益	56,255	40,752
法人税、住民税及び事業税	810	13,853
法人税等還付税額	1,283	-
過年度法人税等	-	9,408
法人税等調整額	5,325	29,575
法人税等合計	5,798	6,313
四半期純利益	62,054	47,066

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失( )	24,339	31,861
減価償却費	20,107	16,864
受取利息及び受取配当金	1,197	1,727
支払利息	11,258	7,300
製品保証引当金の増減額( は減少)	4,083	627
売上債権の増減額( は増加)	174,593	23,795
たな卸資産の増減額( は増加)	45,740	39,462
仕入債務の増減額( は減少)	204,738	36,042
その他	48,281	43,200
小計	73,789	64,896
利息及び配当金の受取額	1,197	1,727
利息の支払額	11,212	7,154
法人税等の支払額	727	1,900
法人税等の還付額	10,260	1,439
営業活動によるキャッシュ・フロー	73,308	70,783
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額( は増加)	100,000	-
有形固定資産の取得による支出	18,346	5,713
無形固定資産の取得による支出	323	8,585
投資有価証券の取得による支出	100,769	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,438	14,298
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	300,000	150,000
長期借入金の返済による支出	333,724	297,628
自己株式の取得による支出	59,327	-
配当金の支払額	194	115
財務活動によるキャッシュ・フロー	93,245	147,743
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	39,375	232,824
現金及び現金同等物の期首残高	1,501,879	1,379,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,462,503	1,146,852



【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】  
該当事項はありません。

【表示方法の変更】

当第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
(四半期貸借対照表) 「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)が適用となることに伴い、前第2四半期会計期間において、「商品」(当第2四半期会計期間末残高21,695千円)、「製品」(当第2四半期会計期間末残高45,648千円)として掲記されていたものは、当第2四半期会計期間では「商品及び製品」と一括して掲記しております。

【簡便な会計処理】

	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

【四半期財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

当第2四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末 (平成22年2月28日)
有形固定資産の減価償却累計額は、157,013千円であります。	有形固定資産の減価償却累計額は、168,594千円であります。

(四半期損益計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。
給料手当 153,694千円	給料手当 134,314千円
研究開発費 113,848	研究開発費 111,068

前第2四半期会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。
給料手当 63,599千円	給料手当 66,692千円
研究開発費 52,377	研究開発費 52,219

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年8月31日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年8月31日現在)
現金及び預金勘定 1,562,503千円	現金及び預金勘定 1,146,852千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 100,000	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 -
現金及び現金同等物 1,462,503	現金及び現金同等物 1,146,852

(株主資本等関係)

当第2四半期会計期間末(平成22年8月31日)及び当第2四半期累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 2,081,000株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 164,020株

(有価証券関係)

当第2四半期会計期間末(平成22年8月31日)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期会計期間末(平成22年8月31日)

当社は、デリバティブ取引を全く行っておりませんので、該当事項はありません。

(持分法損益等)

前第2四半期累計期間(自平成21年3月1日至平成21年8月31日)

利益基準及び剰余金基準からみて重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しております。

当第2四半期累計期間(自平成22年3月1日至平成22年8月31日)

利益基準及び剰余金基準からみて重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しております。

(ストック・オプション等関係)

当第2四半期会計期間(自平成22年6月1日至平成22年8月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期会計期間末 (平成22年8月31日)	前事業年度末 (平成22年2月28日)
1株当たり純資産額 610.38円	1株当たり純資産額 619.30円

2. 1株当たり四半期純利益又は四半期純損失金額

前第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
1株当たり四半期純損失金額( ) 7.23円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純損失金額( ) 9.49円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
四半期純損失( )(千円)	14,274	18,193
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失( )(千円)	14,274	18,193
期中平均株式数(千株)	1,975	1,916

前第2四半期会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
1株当たり四半期純利益金額 32.18円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 24.55円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
四半期純利益(千円)	62,054	47,066
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	62,054	47,066
期中平均株式数(千株)	1,928	1,916

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年10月9日

株式会社ニューテック  
取締役会 御中

### あずさ監査法人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 信一 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 佐藤 由紀雄 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニューテックの平成21年3月1日から平成22年2月28日までの第28期事業年度の第2四半期会計期間（平成21年6月1日から平成21年8月31日まで）及び第2四半期累計期間（平成21年3月1日から平成21年8月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニューテックの平成21年8月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年10月8日

株式会社ニューテック  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 鈴木 信一 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 佐藤 由紀雄 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニューテックの平成22年3月1日から平成23年2月28日までの第29期事業年度の第2四半期会計期間（平成22年6月1日から平成22年8月31日まで）及び第2四半期累計期間（平成22年3月1日から平成22年8月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニューテックの平成22年8月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。